



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月9日

上場会社名 株式会社バンダイ

（コード番号：7967 東証第一部）

（URL <http://www.bandai.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 上野 和典
責任者役職・氏名 社長室ゼネラルマネージャー 川崎 寛

TEL(03)3847-5005

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計上は法定実効税率を使用して簡便的に計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結（新規）2社 （株）VIBE、BANDAI GAMES INC.）

連結（除外）2社 （株）パルボックス、（株）バンポケット）

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	59,772	1.5	5,234	8.0	5,564	5.8	1,464	50.2
17年3月期第1四半期	58,862	1.3	5,687	25.3	5,906	22.3	2,939	26.7
（参考）17年3月期	269,945		24,398		25,723		11,225	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	14.83	14.83
17年3月期第1四半期	29.85	29.79
（参考）17年3月期	111.13	110.99

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	230,313	131,458	57.1	1,330.00
17年3月期第1四半期	216,636	123,635	57.1	1,254.76
（参考）17年3月期	240,290	131,750	54.8	1,333.06

(3) キャッシュ・フロー（連結）の状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	9,378	13,386	2,609	81,177
17年3月期第1四半期	618	3,126	780	77,470
（参考）17年3月期	14,839	10,153	1,212	88,517

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	131,000	12,000	5,000
通期	285,000	30,000	15,500

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期） 154 円06銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

平成17年9月29日に株式会社ナムコと共同持株会社を設立し、経営の統合を行うことを合意いたしました。通期予想は現在の株式会社バンダイの連結業績予想であり、共同持株会社設立後の業績予想については、あらためまして発表する予定であります。

4. 四半期業績の概況および業績予想に関する定性的情報等

(1) 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等

当第1四半期(平成17年4月1日から平成17年6月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の拡大などにより、緩やかながらも回復の動きが見られますが、原油価格の高騰等により、依然として不透明な状態が続きました。

このような状況の中でバンダイグループは、最終年度を迎えた3ヵ年の「中期経営計画」に基づき、効率重視・利益重視に軸足をおいた「事業のエクспанション」に向け、キャラクター展開を核とした「事業創出戦略」と既存事業をさらに拡大していく「事業拡張戦略」を積極的に推し進め、これまで以上に売上拡大を目指すべく、様々な施策に取り組みました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高につきましては59,772百万円(前年同期比 1.5%増)となりました。利益面につきましては、新規キャラクターの展開に関わる広告宣伝費の増加や、大型ゲームソフトタイトルの発売時期の変更等により、営業利益は5,234百万円(前年同期比 8.0%減)、経常利益は5,564百万円(前年同期比 5.8%減)となりました。また、株式会社VIBEの株式取得に伴う営業権相当部分を特別損失として計上したため、四半期純利益は1,464百万円(前年同期比 50.2%減)となりました。

事業の種類別セグメント実績

(百万円)

	売上高			営業利益(損失:)		
	平成18年 3月期 第1四半期	平成17年 3月期 第1四半期	増減額	平成18年 3月期 第1四半期	平成17年 3月期 第1四半期	増減額
トイホビ - 事業	32,599	32,781	182	2,933	2,916	17
ライフスタイル事業	5,673	4,149	1,523	702	168	533
アミューズメント事業	4,310	4,124	186	207	227	20
ゲームソフト事業	4,571	6,729	2,158	1,474	516	1,991
ビジュアル事業	8,920	8,127	793	2,485	1,531	953
ネットワーク事業	3,197	2,356	840	547	405	141
その他事業	3,655	3,724	68	219	242	23

トイホビ事業につきましては、国内において、「ふたりはプリキュア マックスハート」を中心とした女兒向け玩具や「たまごっちプラス」シリーズが前期に引き続き大変好調に推移しました。また、新規カテゴリーであるデジタルデータとカードゲームを融合させた「データカードダス」が好スタートを切りました。一方、男児向け玩具は、「魔法戦隊マジレンジャー」が人気となったものの、その他につきましては、厳しい市場環境の影響もあり堅調な推移となりました。

また、海外においては、アメリカ地域ではキャラクターや事業の選択と集中を図っており、主力商品の展開がクリスマス商戦を含む下期に集中しているため、堅調な推移となっておりますが、ヨーロッパ・アジア地域では、「POWER RANGERS(パワーレンジャー)」、「Tamagotchi(たまごっち)」シリーズを中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は減少したものの利益率の向上により、トイホビ事業全体では減収増益となりました。

ライフスタイル事業につきましては、「シナモロール」・「ふたりはプリキュア マックスハート」・「ムシキング」の子供用衣料、生活雑貨が人気を博しました。また、前期より展開を開始した「らくがき こどもせっけん」が好調に推移しました。さらには、文具事業における効率化の効果もあり、ライフスタイル事業全体では増収増益となりました。

アミューズメント事業につきましては、施設運営において、大型アミューズメント施設の増加、「浅草花やしき」が業績に貢献しました。また、トイホビー事業と連動して展開している「データカードダス」につきましても、好スタートを切っています。しかしながら、アミューズメント機器販売においては第2四半期以降に主力製品の展開を計画していることから、アミューズメント事業全体では増収減益となりました。

ゲームソフト事業につきましては、ヨーロッパ地域においては、「ドラゴンボールZ」シリーズが前期に引き続き好調に推移しました。しかしながら、国内においては前年同期に好評を博した「スーパーロボット大戦MX」のような大型タイトルが第2四半期以降に発売する計画のため、ゲームソフト事業全体では減収減益となりました。

ビジュアル事業につきましては、劇場アニメーション「スチームボーイ」のDVDソフトが好調に推移するとともに、前期よりテレビ放映を開始した「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」によるグループシナジー効果を発揮し、業績に貢献しました。また、「機動戦士Zガンダム 星を継ぐ者」の劇場公開に合わせ、過去のTVシリーズのDVDソフトが人気となりました。この結果、ビジュアル事業全体では増収増益となりました。

ネットワーク事業につきましては、携帯電話向けモバイルコンテンツ配信サービスにおいて、ゲームコンテンツや「機動戦士ガンダム」などのキャラクター総合サイトが人気となり、業績に貢献しました。また、ソリューション分野におけるライセンス収入や受託案件が好調であったため、ネットワーク事業全体では増収増益となりました。

その他事業は、バンダイグループを物流、リース、印刷等でサポートする企業から構成されています。当第1四半期におきましては、引き続き物流事業における事業の効率化などに取り組みましたが、全体としては堅調な推移となり、減収減益となりました。

事業の地域別セグメント実績

(百万円)

	売上高			営業利益(損失:)		
	平成18年 3月期 第1四半期	平成17年 3月期 第1四半期	増減額	平成18年 3月期 第1四半期	平成17年 3月期 第1四半期	増減額
日本	49,919	50,982	1,062	4,802	5,863	1,061
アメリカ	4,408	4,840	432	583	558	24
ヨーロッパ	4,765	3,097	1,668	899	367	532
アジア	6,130	6,287	156	555	539	15

日本地域におきましては、「ふたりはプリキュア マックスハート」を中心とした女兒向け玩具や「たまごっちプラス」シリーズが前期に引き続き大変好調に推移しました。また、新規カテゴリーである「データカードダス」が好スタートを切りました。しかしながら、今期はゲームソフトの大型タイトル発売が第2四半期以降となることから、日本地域全体としては減収減益となりました。

アメリカ地域におきましては、「Tamagotchi (たまごっち)」シリーズが人気となるとともに、「POWER RANGERS (パワーレンジャー)」シリーズが堅調に推移しました。しかしながら、キャラクターや事業について選択と集中を図っており、主力商品の展開がクリスマス商戦を含む下期に集中しているため、アメリカ地域全体としては減収減益となりました。

ヨーロッパ地域におきましては、「POWER RANGERS (パワーレンジャー)」、「Tamagotchi (たまごっち)」シリーズが好調に推移したことに加え、「ドラゴンボールZ」シリーズのゲームソフトが人気となりました。この結果、ヨーロッパ地域全体としては増収増益となりました。

アジア地域におきましては、生産においてグループ会社向けの売上が減少したものの、同地域内の販売が「機動戦士ガンダム」、「POWER RANGERS (パワーレンジャー)」、「仮面ライダー」シリーズのキャラクター玩具、「Tamagotchi (たまごっち)」を中心に好調に推移しました。この結果、アジア地域全体としては減収増益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

当第1四半期末の資産、負債、資本の概況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9,976百万円の減少となりました。これは株式会社ナムコ株式の取得等により投資有価証券が10,619百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が16,311百万円減少したことが主な要因です。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が3,515百万円減少したことや未払金が3,071百万円減少したことにより、9,543百万円の減少となりました。

資本につきましては、四半期純利益が1,464百万円となりましたが、配当金の支払額が2,220百万円あったこと等により、292百万円の減少となりました。

当第1四半期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等を3,654百万円支払ったことや未払金が3,047百万円減少し、仕入債務が3,223百万円減少したものの、売上債権が16,396百万円減少し税金等調整前四半期純利益が4,189百万円となったことから、9,378百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が1,978百万円となったことに加えて、株式会社ナムコ株式等の投資有価証券の取得による支出が10,680百万円となったことと株式会社VIBE株式等の連結子会社株式の取得に伴う支出が1,798百万円になったことにより13,386百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が2,220百万円あったことから、2,609百万円の支出となりました。

以上の増減額に現金及び現金同等物に係る換算差額などを調整した結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ7,339百万円減少して81,177百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報等

今後の経済情勢は、人民元の切り上げによる影響も想定されますが、企業収益の改善や設備投資の増加など、引き続き緩やかながらも回復基調が続くものと予想されます。

また、バンダイグループを取り巻く環境は、玩具業界においては消費者動向のさらなる多様化が進むとともに、ゲーム業界においては新型ハードへ向けて業界が大きく変化していくことが想定され、先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、国内では「魔法戦隊マジレンジャー」、「機動戦士ガンダム SEED DESTINY」など人気の定番キャラクターに加え、「たまごっちプラス」シリーズ、「ふたりはプリキュア マックスハート」、「シナモロール」を中心とした女兒向け商材の展開を積極的に行ってまいります。また、「交響詩篇エウレカセブン」など幅広い層へ向けたコンテンツの強化も図ってまいります。

海外におきましては、人気の「POWER RANGERS (パワーレンジャー)」シリーズや「Tamagotchi (たまごっち)」シリーズに加え、現地発キャラクターの育成にも取り組んでいきます。なお、アメリカ地域では、「ZATCHBELL (ザッチベル) (日本名は「金色のガッシュベル!!)」などの新規キャラクターにより、カード事業、ゲームソフト事業など事業軸の拡大を図ってまいります。

以上により、最近の業績動向等を踏まえ、平成18年3月期中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）の業績予想につきましては、前期決算発表時（平成17年5月10日）に公表いたしました業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

連結中間業績予想数値の修正

（百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成17年5月10日発表）	131,000	10,000	4,500
今回修正予想（B）	131,000	12,000	5,000
増減額（B） - （A）	-	2,000	500
増減率（%）	-	20.0%	11.1%
ご参考 前期（平成17年3月期中間期実績）	121,277	10,132	3,883

個別中間業績予想数値の修正

（百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成17年5月10日発表）	70,000	4,000	2,300
今回修正予想（B）	70,000	5,000	2,800
増減額（B） - （A）	-	1,000	500
増減率（%）	-	25.0%	21.7%
ご参考 前期（平成17年3月期中間期実績）	61,493	5,897	2,758

なお、通期の業績予想につきましては、連結、個別共に前期決算発表時（平成17年5月10日）に公表いたしました業績予想数値に変更はございません

[添付資料]

四半期連結財務諸表等

(1)四半期要約連結貸借対照表

区 分	当 第 1 四 半 期 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)		増 減		前 第 1 四 半 期 (平成16年6月30日現在)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資 産 の 部)								
流動資産								
1.現金及び預金	71,056		81,228				57,991	
2.受取手形及び売掛金	39,816		56,128				37,694	
3.たな卸資産	9,644		8,935				9,197	
4.繰延税金資産	4,406		4,406				5,221	
5.その他	27,751		23,334				37,967	
6.貸倒引当金	574		632				702	
流動資産合計	152,102	66.0	173,401	72.2	21,299	12.3	147,368	68.0
固定資産								
1.有形固定資産	40,929	17.8	40,625	16.9	303	0.7	41,962	19.4
(1)建物及び構築物	12,709		12,944				14,367	
(2)土地	17,649		17,662				17,908	
(3)その他	10,569		10,018				9,686	
2.無形固定資産	3,924	1.7	3,780	1.6	143	3.8	2,149	1.0
3.投資その他の資産	33,357	14.5	22,482	9.3	10,875	48.4	25,156	11.6
(1)投資有価証券	28,054		17,434				17,472	
(2)繰延税金資産	1,196		1,021				3,450	
(3)その他	5,011		4,954				5,201	
(4)貸倒引当金	904		929				968	
固定資産合計	78,211	34.0	66,888	27.8	11,322	16.9	69,268	32.0
資産合計	230,313	100.0	240,290	100.0	9,976	4.2	216,636	100.0

区 分	当 第 1 四 半 期 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)		増 減		前 第 1 四 半 期 (平成16年6月30日現在)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負 債 の 部)								
流動負債								
1.支払手形及び買掛金	26,998		30,514				24,319	
2.短期借入金	639		1,008				332	
3.1年以内償還予定の社債	10,000		10,050				50	
4.未払金	13,650		16,721				12,988	
5.その他	8,416		10,567				8,986	
流動負債合計	59,705	25.9	68,862	28.7	9,157	13.3	46,677	21.6
固定負債								
1.社債	15,000		15,150				25,150	
2.長期借入金	1,891		2,016				8	
3.再評価に係る繰延税金負債	851		907				813	
4.退職給付引当金	667		627				560	
5.役員退職慰労引当金	815		1,019				900	
6.その他	1,406		1,296				1,449	
固定負債合計	20,631	9.0	21,017	8.7	385	1.8	28,882	13.3
負債合計	80,336	34.9	89,880	37.4	9,543	10.6	75,559	34.9
(少数株主持分)								
少数株主持分	18,518	8.0	18,659	7.8	141	0.8	17,441	8.0
(資 本 の 部)								
資本金	24,664	10.7	24,466	10.2	198	0.8	24,374	11.3
資本剰余金	23,997	10.4	23,799	9.9	198	0.8	23,707	10.9
利益剰余金	101,392	44.0	102,225	42.5	832	0.8	94,838	43.8
土地再評価差額金	21,244	9.2	21,163	8.8	81	-	21,298	9.8
その他有価証券評価差額金	2,754	1.2	2,835	1.2	81	2.9	3,122	1.4
為替換算調整勘定	68	-	238	0.1	307	-	943	0.4
自己株式	175	-	173	0.1	1	-	166	0.1
資本合計	131,458	57.1	131,750	54.8	292	0.2	123,635	57.1
負債、少数株主持分 及び資本合計	230,313	100.0	240,290	100.0	9,976	4.2	216,636	100.0

(2)四半期要約連結損益計算書

区 分	当 第 1 四 半 期 (自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日)		前 第 1 四 半 期 (自 平成16年4月 1日 至 平成16年6月30日)		増 減		前連結会計年度 (自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
売 上 高	59,772	100.0	58,862	100.0	909	1.5	269,945	100.0
売 上 原 価	33,206	55.6	32,840	55.8	366	1.1	153,144	56.7
売 上 総 利 益	26,565	44.4	26,022	44.2	543	2.1	116,801	43.3
販売費及び一般管理費	21,331	35.6	20,335	34.5	996	4.9	92,402	34.3
営 業 利 益	5,234	8.8	5,687	9.7	452	8.0	24,398	9.0
営 業 外 収 益	539	0.9	434	0.7	105	24.2	1,806	0.7
1.受 取 利 息	143		111				526	
2.持分法による投資利益	66		-				-	
3.そ の 他	329		323				1,280	
営 業 外 費 用	209	0.4	215	0.4	5	2.6	481	0.2
1.支 払 利 息	75		42				190	
2.持分法による投資損失	-		98				24	
3.そ の 他	134		73				266	
経 常 利 益	5,564	9.3	5,906	10.0	341	5.8	25,723	9.5
特 別 利 益	299	0.5	1,075	1.8	776	72.1	3,157	1.2
1.固定資産売却益	180		-				21	
2.投資有価証券売却益	82		1,053				2,953	
3.そ の 他	36		21				181	
特 別 損 失	1,674	2.8	426	0.7	1,247	292.3	3,912	1.5
1.固定資産除売却損	63		15				711	
2.減 損 損 失	1,610		-				1,528	
3.固定資産臨時償却費	-		-				104	
4.事 業 整 理 損 失	-		-				590	
5.営 業 権 償 却	-		392				392	
6.和 解 金	-		-				54	
7.投資有価証券評価損	-		15				156	
8.差入保証金評価損	-		2				25	
9.貸倒引当金繰入額	-		-				348	
税金等調整前四半期 (当期)純利益	4,189	7.0	6,555	11.1	2,365	36.1	24,968	9.2
法 人 税 等	2,850	4.7	2,808	4.8	41	1.5	12,125	4.4
少数株主利益(損失:)	125	0.2	806	1.3	931	-	1,616	0.6
四半期(当期)純利益	1,464	2.5	2,939	5.0	1,475	50.2	11,225	4.2

(3)四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,189	6,555	24,968
減価償却費及び減損損失等	3,464	1,612	9,685
諸引当金の増減額(減少:)	190	461	391
持分法による投資損益(利益:)	66	98	24
固定資産除売却損益(売却益:)	116	15	690
投資有価証券売却損益及び評価損(売却益:)	82	1,037	2,797
売上債権の増減額(増加:)	16,396	13,386	4,607
たな卸資産の増減額(増加:)	855	1,326	979
仕入債務の増減額(減少:)	3,223	2,391	3,458
未払金の増減額(減少:)	3,047	6,985	3,380
役員賞与の支払額	337	313	313
その他の	3,332	2,760	26
小 計	12,797	6,391	26,331
利息及び配当金の受取額	274	213	909
利息の支払額	38	3	138
法人税等の支払額	3,654	7,220	12,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,378	618	14,839
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増減額(増加:)	43	450	543
有価証券の増減額(増加:)	499	97	4
有形固定資産の取得による支出	1,978	3,059	8,922
有形固定資産の売却による収入	501	3	57
無形固定資産の取得による支出	408	-	2,616
投資有価証券の取得による支出	10,680	1,412	2,498
投資有価証券の売却による収入	107	1,295	2,972
連結子会社株式の取得による収入(支出:)	1,798	-	38
連結子会社株式の売却による収入	114	-	1,139
貸付による支出	34	231	1,331
貸付金の回収による収入	246	61	479
その他の	-	136	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,386	3,126	10,153
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(純額)(減少:)	404	21	218
長期借入れによる収入	-	-	2,766
長期借入金の返済による支出	163	3	271
株式の発行による収入	396	163	346
少数株主の払込みによる収入	-	-	3
自己株式の取得による支出	1	1	8
配当金の支払額	2,220	738	1,478
少数株主への配当金の支払額	216	222	363
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,609	780	1,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	198	396
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	6,478	4,723	6,295
現金及び現金同等物の期首残高	88,517	82,193	82,193
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	28
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	860	-	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	81,177	77,470	88,517

(4)セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

	当 第 1 四 半 期 (自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日)									
	トイホビー 事業 (百万円)	ライフスタイル 事業 (百万円)	アミューズメント 事業 (百万円)	ゲームソフト 事業 (百万円)	ビジュアル 事業 (百万円)	ネットワーク 事業 (百万円)	その 他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売 上 高										
(1) 外部顧客に対する売上高	32,058	5,668	4,104	4,566	8,659	3,124	1,589	59,772	-	59,772
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	540	5	205	4	261	72	2,065	3,155	(3,155)	-
計	32,599	5,673	4,310	4,571	8,920	3,197	3,655	62,927	(3,155)	59,772
営 業 費 用	29,665	4,971	4,102	6,045	6,435	2,650	3,435	57,305	(2,768)	54,537
営 業 利 益 (損失:)	2,933	702	207	1,474	2,485	547	219	5,621	(386)	5,234

	前 第 1 四 半 期 (自 平成16年4月 1日 至 平成16年6月30日)									
	トイホビー 事業 (百万円)	ライフスタイル 事業 (百万円)	アミューズメント 事業 (百万円)	ゲームソフト 事業 (百万円)	ビジュアル 事業 (百万円)	ネットワーク 事業 (百万円)	その 他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売 上 高										
(1) 外部顧客に対する売上高	32,515	4,140	3,852	6,725	7,896	2,314	1,417	58,862	-	58,862
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	266	8	271	3	230	42	2,307	3,130	(3,130)	-
計	32,781	4,149	4,124	6,729	8,127	2,356	3,724	61,993	(3,130)	58,862
営 業 費 用	29,865	3,981	3,896	6,212	6,595	1,951	3,481	55,983	(2,807)	53,175
営 業 利 益	2,916	168	227	516	1,531	405	242	6,010	(322)	5,687

	前 連 結 会 計 年 度 (自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日)									
	トイホビー 事業 (百万円)	ライフスタイル 事業 (百万円)	アミューズメント 事業 (百万円)	ゲームソフト 事業 (百万円)	ビジュアル 事業 (百万円)	ネットワーク 事業 (百万円)	その 他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売 上 高										
(1) 外部顧客に対する売上高	145,720	20,223	16,636	38,499	32,514	10,416	5,934	269,945	-	269,945
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,264	48	1,338	15	1,062	250	9,117	13,096	(13,096)	-
計	146,984	20,271	17,975	38,514	33,577	10,667	15,051	283,042	(13,096)	269,945
営 業 費 用	135,711	18,859	17,425	34,145	28,371	8,949	14,112	257,574	(12,027)	245,547
営 業 利 益	11,273	1,412	549	4,368	5,206	1,718	938	25,467	(1,069)	24,398

(注)1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1)トイホビー事業 …… 玩具、玩具菓子、自動販売機用商品、カード、模型等
- (2)ライフスタイル事業 …… アパレル、生活用品、文具等
- (3)アミューズメント事業 …… アミューズメント機器、アミューズメント機器向け景品、アミューズメント施設運営等
- (4)ゲームソフト事業 …… 家庭用ゲーム機・携帯ゲーム機向けゲームソフト等
- (5)ビジュアル事業 …… 映像作品、映像ソフト等
- (6)ネットワーク事業 …… モバイルコンテンツ、オンデマンド映像配信、オンラインゲーム等
- (7)その 他 事 業 …… 製品の輸送・保管、リース、不動産管理、印刷等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、当第1四半期505百万円、前第1四半期458百万円、前連結会計年度1,873百万円であります。その主なものは当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)						
	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	48,580	4,082	4,765	2,343	59,772	-	59,772
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,339	326	-	3,787	5,452	(5,452)	-
計	49,919	4,408	4,765	6,130	65,224	(5,452)	59,772
営業費用	45,117	4,991	3,865	5,575	59,550	(5,013)	54,537
営業利益 (損失:)	4,802	583	899	555	5,674	(439)	5,234

	前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)						
	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	49,674	4,599	3,097	1,491	58,862	-	58,862
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,307	241	-	4,796	6,345	(6,345)	-
計	50,982	4,840	3,097	6,287	65,207	(6,345)	58,862
営業費用	45,118	5,399	2,729	5,747	58,995	(5,820)	53,175
営業利益 (損失:)	5,863	558	367	539	6,212	(525)	5,687

	前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)						
	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	219,221	20,749	21,744	8,230	269,945	-	269,945
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,666	1,096	-	22,606	29,369	(29,369)	-
計	224,888	21,845	21,744	30,837	299,315	(29,369)	269,945
営業費用	201,847	24,573	17,776	28,856	273,053	(27,506)	245,547
営業利益 (損失:)	23,040	2,728	3,967	1,980	26,261	(1,863)	24,398

(注)1. 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

アメリカ アメリカ合衆国・カナダ

ヨーロッパ フランス・イギリス・スペイン

アジア 香港・タイ・韓国

2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、当第1四半期505百万円、前第1四半期458百万円、前連結会計年度1,873百万円であります。その主なものは当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。